

Press Release

日本ベーリンガーインゲルハイム、
スマートフォン用アプリ「副作用シグナル♥CHECKER」を、
薬剤師を対象に11月16日より無償提供開始
(iPhone/Android 対応)

2012年11月16日 日本/東京

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:青野吉晃)は、患者さんを副作用から守るために開発されたスマートフォン用アプリケーション「副作用シグナル♥CHECKER」を、薬剤師を対象に11月16日より無償提供致します。

本アプリは、副作用が可能な限り早期に発見され、その後の適切な対応へつなげるための支援ツールとして、日本ベーリンガーインゲルハイムとBIファーマシストアワード2012準グランプリを受賞された「山口大学医学部附属病院薬剤部」および「株式会社 プラスアール」が共同開発したものです。

「副作用シグナル♥CHECKER」画面イメージ



- iPhone は、Apple Inc.の商標です。
- Android は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- このアプリケーションは、薬剤師をはじめとする医療関係者向けに作成されています。医療関係者限定のアプリケーションのため、初回ログイン時に免責事項に同意していただく必要があります。
- 本アプリはスマートフォン/タブレット端末向けです。
【対応 OS】iOS 5.0 以上 AndroidOS 2.3 以上



2012年11月16日

ベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社
広報部

東京都品川区大崎2-1-1

ThinkPark Tower

Tel: 03-6417-2145

Fax: 03-5435-2920



当プレスリリースは、弊社HPからも
ご覧いただけます。

www.boehringer-ingelheim.co.jp

患者さんの副作用を効率的に確認

「副作用シグナル♥CHECKER」は、患者さんの自覚症状を「皮膚の症状」「目の症状」など 8 項目に分類して問う形式で、薬局を訪れる患者さんの副作用シグナルを効率的に検出できるよう考案されたものです。「副作用シグナル♥CHECKER」による確認結果は、CSV ファイルを電子メールで送信することができ、何らかの副作用シグナルが検出された場合には薬局と病院が迅速に情報共有することが可能になります。

「副作用チェックシート」から「副作用シグナル♥CHECKER」へ

「副作用シグナル♥CHECKER」は、山口大学医学部附属病院(薬剤部長)の古川裕之教授が 2011 年に考案した「副作用チェックシート」を元に開発されたものです。古川教授はこの「副作用チェックシート」を用いた地域の「薬-薬連携」(病院と薬局の薬剤師が情報を共有し、充実した医療を目指す連携)のシステムを構築し、その功績により「BI ファーマシストアワード 2012」の準グランプリを受賞されました。

山口大学医学部附属病院では上記システムを 2011 年 4 月より運用開始し、システム運用から 12 カ月間で報告を受けた副作用シグナルが 1,188 件、そのうち処方医に連絡を行ったのは 93 件で、全体の約 7.8%でした。同病院では運用開始から 3 カ月毎に保険薬局との意見交換を行い、システムの改善を続けてきました。

今回のアプリ無償提供を受け、古川教授は以下のようにコメントしています。「勤務先の大学病院と地域の保険薬局との連携のために考案したチェックシートが、こうして全国の患者さんを守るために役立てられることを、大変嬉しく思います。今後も薬-薬連携により、薬剤師の重要な使命のひとつである副作用の早期発見と拡大防止に努めていきたいと思います。」

「副作用シグナル♥CHECKER」の取得方法

「副作用シグナル♥CHECKER」は、ベーリンガーインゲルハイム のウェブサイト にアクセスし、ナビゲート先の Apple Store および Google Play Store の該当ページからダウンロードできます。(提供対象者は薬剤師をはじめとする医療関係者のみ)

ベーリンガーインゲルハイム ウェブサイト

www.boehringer-ingelheim.co.jp

BI ファーマシストアワードについて

「BI ファーマシストアワード」は、日々の薬剤師業務を通じて医薬品の適正使用や薬物治療に貢献する優れた取り組みを表彰するため、日本ベーリンガーインゲルハイムが2010年4月に創設した賞です。第2回目となる「BI ファーマシストアワード2012」は、「薬剤師による医療連携の実践」をテーマに、薬剤師の取り組み・研究を広く募集しました。また現在、「BI ファーマシストアワード2013」を募集中です。(テーマ:「さらなるチーム医療の実践」、締切:2012年12月20日)

ベーリンガーインゲルハイムについて

ベーリンガーインゲルハイムグループは、世界でトップ20の製薬企業の1つです。ドイツのインゲルハイムを本拠とし、世界で145の関連会社と44,000人以上の社員が、事業を展開しています。1885年の設立以来、株式公開をしない企業形態の特色を生かしながら、臨床的価値の高いヒト用医薬品および動物薬の研究開発、製造、販売に注力してきました。

ベーリンガーインゲルハイムにとって、社会的責任を果たすことは、企業文化の最も重要な柱の1つです。事業を展開する世界の国々において、社会問題に取り組み、社員とその家族を思いやり、全社員に平等な機会を提供することが、ベーリンガーインゲルハイムの基盤です。そして、尊重と誠実を重んじ、環境保護と持続可能な社会の実現に向けて貢献することが、ベーリンガーインゲルハイムの本質であり使命です。

2011年度は132億ユーロ(約1兆4,624億円)の売上を示しました。革新的な医薬品を世に送り出すべく、医療用医薬品事業の売上の23.5%相当額を研究開発に投資しました。

日本ではベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社が持ち株会社として、その傘下にある完全子会社の日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社(医療用医薬品)、エスエス製薬株式会社(一般用医薬品)、ベーリンガーインゲルハイム ベトメディカ ジャパン株式会社(動物用医薬品)、ベーリンガーインゲルハイム製薬株式会社(医薬品製造)の4つの事業会社を統括しています。

日本ベーリンガーインゲルハイムは、呼吸器、循環器、中枢神経などの疾患領域で革新的な医療用医薬品を提供しています。また、グローバルな研究・開発の一翼を担う医薬研究所を神戸に擁しています。

詳細は下記をご参照ください。

www.boehringer-ingenelheim.co.jp

参考資料:「副作用チェックシート」を社会貢献活動で活用

「副作用チェックシート」は、ベーリンガーインゲルハイムの社員が東日本大震災の被災地で行っている健康相談でも活用されています。この健康相談は、2012年4月より岩手県および財団法人岩手県予防医学協会が行う活動を継続的に支援しているボランティア活動で、2011年11月に社内で創設された社員のアイデアによる社会貢献活動をサポートする仕組み「思いをカタチにコンテスト」で、サポート対象活動のひとつに選出されたものです。



「副作用チェックシート」を活用した健康相談を行う青野吉晃 日本ベーリンガーインゲルハイム代表取締役社長(右)と岩手県予防医学協会のスタッフ(左)

お問い合わせ先:

ベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社
広報部

Tel. 03-6417-2145

Fax. 03-5435-2920